

層雲峡ビジターセンター



〔フロストフラワー・大函〕

大函にフロストリバー出現！？

12月下旬、大函にフロストフラワーでできた小川が現れました。川縁からきれいに三層のグラデーションになっていて、小さな蕾のような形のもの→ふわふわとした花のような形のもの→薄氷の上に点在する小さなフロストフラワーと様子の変化し、まるでフロストフラワーでできた小川が流れているようでした。

フロストフラワーはどのようにして生まれるかというと、まず川面から蒸発した水蒸気が凍って、氷の欠片などの小さく突起した部分にくっつきます。その突起を中心に水蒸気が次々に凍りつき、結晶となって大きく成長し、美しい花のような形になっていきます。

フロストフラワーと言っても、すべて花のような形をしているわけではなく、小さな蕾のようなものや鳥の羽のようなもの、針状のものなど形は様々です。

数々の条件を満たさなければ見られないフロストフラワーですが、層雲峡周辺ではかなりの確率で目にすることができます。フロストフラワーを見に、層雲峡にいらっしゃいませんか？



〔大函にいたカワガラス〕

【カワガラス】(スズメ目カワガラス科)

全長：22 cm

分布：東アジアに広く分布。日本では北海道から屋久島まで留鳥として繁殖。

川にすみ、カラスのように全身黒っぽいことが名前の由来。まぶたは白色。水に潜って水生昆虫などを捕らえて食べます。溪流にすみ、層雲峡周辺では大函(石狩川)やニセイチャロマップ川、層雲峡園地(石狩川)などでよく見かけます。

もっと知りたい！層雲峡

～当センターのスタッフが、皆さんに知ってほしいことや
あまり知られていない層雲峡のあれこれをご紹介します～

層雲峡の名勝『大函』

層雲峡の見所として真っ先に思い浮かぶのは、銀河・流星の滝と大函・小函ではないでしょうか。その中でも柱状節理のスケールの大きさから小函(※現在は通行止めで立入禁止)が層雲峡の核心部であるという認識が一般的ではないかと思われます。しかし、昔は違ったようです。現在の大函は売店などもなくひっそりとしていますが、大正から昭和にかけて、層雲峡を代表する景観として一番に挙げられていたのは大函でした。

大雪山が国立公園に指定されてまもない1936年(昭和11年)に発行された『層雲峡の展望 大雪山国立公園』(層雲峡を起点とした大雪山のガイドブック)では、表紙・中表紙ともに大函が使われており、「大函」が一番初めに「秘境第一勝」として紹介されています。添付されている当時の大函の写真には、柱状節理の絶壁に囲まれ、滑らかな水面をたたえた石狩川の溪流が映っており、「奇勝 層雲峡の溪谷美を代表する第一のものは彼の大函なるべし。石狩の清流を挟み屹々として直立せる大岩壁は幾千尺あるやも測り知れず、仰ぎ見て等しく驚嘆せざるなき壯観は天下無双、まことに神工鬼斧の極致を示したるものと言ふべきなり」と記載されています。

同じく1936年(昭和11年)に発売された絵葉書の袋の表紙には大函が描かれており、大函の絵葉書には「層雲峡随一を誇る溪谷美である」と紹介されています。

また、大正から昭和初期にかけての登山家・作家である大島亮吉の名文「石狩岳より石狩川に沿うて」では、大箱(現在の「大函」)について、「この巨大な岩柱が均齊な並行をもって墻立して、その両側が次第に焦点に近づいてゆく驚嘆すべき景観は自然の最も精緻な建築美を遺憾なく表現する」、「正しい六角形の巨大な岩柱の建築学的にシンメトリックな整列と、そして水の暗瑠璃色の厚板をもって敷き詰められ透明な床をもった、到底人間の想像し及ばぬ雄大壮麗な自然の大殿堂の廻廊の一部がある」と、見事な筆致で大函の景観の素晴らしさを称えています。

かつての大函探勝は腰や胸まである水を漕いでいかねばならず、大変困難なものだったそうです。現在の大函は上流に大雪ダムがあり、水量や水の流れ方が変わってしまったため、昔とは景観が異なるところもありますが、大正・昭和の時代に層雲峡を訪れた人たちの気持ちを想像しながら大函の景色を眺めてみると、また違った味わい方ができるかもしれません。(高橋)



大函を見る
(『層雲峡の展望:大雪山国立公園』
大正写真工芸所/層雲閣.1936,p.1)



大函
(1936年(昭和11年)に発売された絵葉書
『層雲峡全景』の一枚)



現在の大函
(2023年6月撮影)

☆冬季観覧会「氷の世界へ」開催中！(毎週土・日 ～2/18まで)

スノーシューで大函とニセイチャロマップ周辺を歩きます。間近で氷柱や氷瀑、霜結晶などを観察することができるオススメのコースです。大函の峡谷の中にも行きます。大函の展望台から見える景色の先がどうなっているのか…気になる方はぜひ！



～川べりで見つけた氷のアート～



【恐竜の歯?!】



【白いフラミンゴの行列?!】

第49回 氷瀑まつり
1/27(土)～3/17(日)
(※17:00～21:30)

趣向を凝らした氷の造形物
と幻想的な雰囲気をぜひお
楽しみください！

層雲峡ビジターセンター (電話) 01658-9-4400

〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峡 ウェブサイト <http://sounkyovc.net>